

ムサビの教員が選ぶ

美大生におすすめの本

Recommended books for art students.

通信教育課程 油絵学科
(日本画表現コース)
室井佳世教授

『佐野繁次郎装幀集成：西村コレクションを中心として』

佐野繁次郎〔作〕, 西村義孝 編著,
みずのわ出版, 2008



私は「お直しの赤」が好きです。答案用紙の赤ペンや赤鉛筆、習字の朱のお直しが子供の頃からのツボでした。ひっかかるような、こびりつくような質感は尚更喜欢いで、それが現在の素材選びに結びついている気がします。

表題の佐野繁次郎は1900（明治33）生まれの洋画家（1987・昭和62 没）。気になる赤の使い手として心にひっかかる作風なのです。少年であった大正期に佐伯祐三と共に学び、のちに横光利一や小林秀雄らの挿絵装幀を手掛けます。37歳で渡仏し、マティスに師事。そんな経歴を持つ絵描きだとも知らず、私が初めて観た装幀は「銀座百点」の表紙だったと記憶しています。画廊廻りをしている時にあちこちで見かける小さな冊子の、赤の質感や癖のある文字の断片でそれとわかる風合いがたまらなく好きでした。

手掛けた多数の挿絵や表紙などを集めたこの装幀集は、開いて眺めるたびに自分の制作の原点・根っこを思い起こさせる気付け葉のような存在なのです。

